

## 広島大学-マレーシア工科大学 学生研究コロキウム 2017 報告

12月11日～15日にかけて広島大学の学生とマレーシア工科大学の学生による研究コロキウムが開催されました。本年度はマレーシア工科大学の学生および教職員を広島大学に招いての開催となり、マレーシアの学生は連日の雪をも楽しみながらのコロキウムとなりました。

11、12日はそれぞれの研究についてのプレゼンテーションが行われました。自分の研究を20分のプレゼンテーションで理解してもらうということは容易なことではありませんが、それぞれが工夫を凝らしたプレゼンテーションを行い、その後の質疑応答やディスカッションでは皆が活発に発言していて、今後の研究活動において有意義な時間となりました。12日の夜にはウェルカムパーティが行われ、広島大学の「けん玉サークル DAMA けん」さんによるけん玉のパフォーマンスおよび体験や、お互いの国のダンス披露など、賑やかで笑顔に溢れたパーティでした。



13、14日はフィールドワークの時間となり、熊野町での書道体験や広島市での平和記念資料館での平和学習、宮島での手焼きもみじ饅頭体験など、広島ならではのフィールドワークとなりました。夜はたこ焼きパーティをしたり、カラオケに行ったりと、学生同士の交流が盛んに行われ、日に日に学生間の仲が良くなっていくのを感じることができました。





15日の夕方には東広島市内の東広島芸術文化ホール・くららでフェアウェルパーティが行われました。日本料理とマレーシア料理を作り合い、ご飯を通して互いの絆を深め合いました。テーブルいっぱいの料理はこの数日間で築いた私たちの関係性を表しているように感じました。



広島大学とマレーシア工科大学の学生 22 人が今回築いた関係はこの 5 日間で終わるものではなく、今後も長い将来に渡ってずっと続いていくものだと願っています。連日雪が降るような寒い気候やハラル料理がないといった厳しい状況のなかでも常に楽しんでいたマレーシア工科大学の学生の笑顔を忘れられません。マレーシアでも日本でも、近いうちにまた会えることを約束して 5 日間のコロキウムは幕を閉じました。また、今回のコロキウムは日下部先生、山根さんを始めとする CICE 教職員の皆様、マレーシア工科大学の教職員の皆様のご尽力あっての成功です。改めて感謝申し上げると同時に、来年度マレーシア工科大学で開催されますコロキウムの成功を祈っています。

**HU-USM The 6th International Students Colloquium  
Discover and Achieve Your Next Stage  
(Hiroshima University 11-15 Desember 2017)**

